

お家が「空き家」になる前に…

住む人がいなくなり、管理がされなくなった空き家は**すぐに老朽化**が進みます。近年、老朽化した空き家が年々増加し、周囲に悪影響を及ぼす事例が増えています。



住む人がいなくなったら誰が管理する？

引き継ぐ人が決まっていないお家は空き家化の一手手前です。

あなたのお家はいかがですか？

あなたにも訪れるかも!? 空き家化のピンチ!



住んでいる人の判断力が低下してしまった。

お家の将来に関する明確な意思確認が難しくなってしまいます。



住んでいる人が施設に入ることになってしまった。

ご家族が遠方にお住まいの場合、管理が難しくなります。



住んでいる人が亡くなり突然相続することになってしまった。

家族の間で意見がまとまらず、長く放置されるケースもあります。

今お住まいの家族がどうお考えか把握できていますか？

- 家はやっぱり住み継いでほしいな。
- 詳しくは知らないけど、その時になれば何とかなるさ。
- 後のことはきっと家族がうまくやってくれるよ。



お家の将来について普段は話題にしづらいですが、何も知らないままだと後から非常に困ることもあります。今お住まいの家族が元気なうちから、お家に対する想いや意向をしっかりと共有しておきましょう。

お家の「将来」を 考えてみませんか。



お家が将来「空き家」にならないように、家族で話し合ってみましょう!



こんなことを話し合ってみましょう!

- 今住んでいる人は、その家を**どうしてほしい**ですか?
- 今住んでいる人が住まなくなったとき、**誰が**引き継ぎますか?
- 引き継いだ人はお家に**住みますか**?
- 住まないとき、**管理できますか**?
- 管理できないとき、**どうしますか**?
- お家の登記などは**確認できていますか**?



こちらも忘れずに

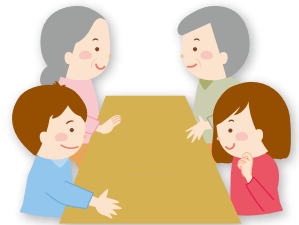
荷物の片付けも大変です!

お家を引き継ぐ方にとってお家に残された荷物の片付けは、金銭的にも時間的にも大きな負担となります。お家の将来を考えるタイミングから、徐々に整理を始めましょう。また、大切にしてきた想いや価値を共有するためにも、家族で話し合いながら進めていきましょう。



こんなときに話し合ってみましょう!

- お盆や正月など、家族や親戚が集まる時
- 子供の独立後や退職後の暮らしを考えると時
- 病気など心配事が出来た時



家族のコミュニケーションで大切なお家の空き家化を防ぎましょう!

- 「住み継ぐ」「貸す」「売る」など、お家の将来の方向性は見えてきましたか?
- 分からないことがあれば、市町村の窓口や不動産の専門家にご相談ください。



空き家に関する各種補助制度や、空き家バンク等の相談については、市町村の空き家担当窓口までご相談ください。

また、鳥取県では、不動産にかかわる専門家団体を組織する「とっとり空き家利活用推進協議会」が、空き家のワンストップ相談窓口を開設しています。不動産や法律の専門家へのご相談は、こちらまで活用ください。

とっとり空き家利活用推進協議会 | [検索](#)

〈ワンストップ相談窓口受付〉
月～金 9:00～16:30

東部 ☎090-4659-1908

中部 ☎080-2929-8172

西部 ☎080-2929-8173